

2026 年度 JISA 低炭素化社会実行計画

フォローアップ調査アンケート

一般社団法人 情報サービス産業協会

■ ご回答者様の情報

貴社名	
ご担当者	お名前
	部署・役職名
電話番号	
E-mail	

問 1. 貴社での 2025 年度エネルギー消費量基礎数値についてお尋ねします。

以下の質問は、貴社がエネルギー消費について自己管理可能な本社・支社・営業所等の事業所を対象とします。なお、自社以外の管理施設での業務、電力使用量が不明の事業所（テナントビルに入居している場合等）は除外いただいて結構です。また、データセンタ施設の一部にオフィスが入居している場合には、該当オフィスでの電力消費についてもデータセンタ系として集計してください。

(1) 2025 年度売上高（直近発表値）（概算、あるいは見込みでも結構です。）

単独売上高 [] 百万円

(2) エネルギー消費量及び床面積

		事務所系	データセンタ系
2025 年度	年間電力使用量 (万 kWh)		
	電力以外のエネルギー 使用量 (原油換算 kl/年)		
	集計対象事業所数		
	延べ床面積 (m ²)		

注 1) 年間電力消費量の単位は万 kWh です。単位にご注意ください。

注 2) データセンタ系については、各社で公表しているデータセンタの諸元値をベースに回答ください。また、区分が不明な場合等については各社の判断で区分くださるようお願いいたします。

(3) (2) の年間電力使用量と電力以外のエネルギー使用量の総和に対し、再生可能エネルギー（証書・クレジットの活用を含む）の占める割合をご記入ください。

注) 再生可能エネルギーの占める割合がわからない場合は不明にチェックをしてください。

[] % ☐ 不明

(4) (2)の年間電力使用量と電力以外のエネルギー使用量の総和について、テレワーク導入により、導入前の電力使用量と比べての電力量の増減について、定性的に把握されていることがあればご回答ください。

(記入例 1:全職員にテレワークを導入し、出勤率が半減しておりオフィスの使用電力量は半減した。

記入例2:テレワークを導入したことで、オフィスの一部を解約した。そこで、単位面積当たりの電力使用量は増加している。)

--

(5) データセンタにおけるエネルギー消費量の内訳について構成比をご記入ください。(複数センタの場合は、可能ならば、加重平均で、そうでない場合は、単純平均でご記入ください)。

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 1) I T機器 | [] % |
| 2)空調／冷却システム | [] % |
| 3)照明・その他 | [] % ・ ・ ・ 合計 100% |

(6) データセンタの PUE を把握している場合はご記入ください(複数センタの場合は、可能ならば、加重平均で、そうでない場合は、単純平均でご記入ください)。

PUE []

※記入いただいた PUE の計算について

☐ 単独DC (1 事業所のみ) 複数DC の場合 : [☐ 各DC の単純平均 ☐ 加重平均]

問 2. 貴社での省エネ活動の取り組み状況についてお尋ねします。

貴社において、以下省エネにつながる取り組み項目の達成状況にチェックしてください。

(1) 事務所での取り組み

対策項目		十分に 対策し ている	一部の 部署／ 事業所 で取り 組んで いる	これか ら取り 組む予 定であ る	取り組 む予定 はない
I T 機器	省電力な機器の採用	☐	☐	☐	☐
	仮想化技術による機器の削減	☐	☐	☐	☐
照明 設備等	消灯徹底化	☐	☐	☐	☐
	高効率照明の導入	☐	☐	☐	☐
空調 設備	冷暖房の適切な温度設定	☐	☐	☐	☐
	空調機の外気導入量の削減	☐	☐	☐	☐
エネル ギー関 係	再生可能エネルギー設備の導入	☐	☐	☐	☐
	再生可能エネルギー電気の購入	☐	☐	☐	☐
規定 規則等	一斉退社日の徹底など、労働時間短縮に伴う消灯、空調停止	☐	☐	☐	☐
	フリーアドレスオフィスやテレワークの導入	☐	☐	☐	☐
	新拠点にグリーン・オフィスビルを選択	☐	☐	☐	☐
	国の施策への参加 https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/	☐	☐	☐	☐

(2) データセンタでの取り組み

データセンタを事業として取り組んでいる場合において、以下省エネにつながる取り組み項目の達成状況にチェックしてください。

対策項目		十分に 対策し ている	一部の 部署／ 事業所 で取り 組んで いる	これか ら取り 組む予 定であ る	取り組 む予定 はない
I T 機器	サーバーの稼働率・導入率の向上	☐	☐	☐	☐
機器 関係	高効率空調機の導入	☐	☐	☐	☐
	高効率変圧器の導入	☐	☐	☐	☐
	高効率冷凍機の導入	☐	☐	☐	☐
	高効率ポンプの導入及び INV 化	☐	☐	☐	☐

空調 設備	INV ファンの導入	☐	☐	☐	☐
	ラック列キャッピングの導入	☐	☐	☐	☐
エネ ル ギ ー 関 係	フリークーリング・外気冷房の導入	☐	☐	☐	☐
	自然採光の導入	☐	☐	☐	☐
	屋上・壁面緑化の導入	☐	☐	☐	☐
運 用 関 係	BEMS 導入によるエネルギー管理	☐	☐	☐	☐
	給排気ファン間欠運転制御	☐	☐	☐	☐
	ピーク時間電力削減対応	☐	☐	☐	☐
	老朽化データセンタの統廃合	☐	☐	☐	☐

その他、データセンタを事業として取り組んでいる場合において、データセンタの冷却技術や、建屋の効率化など、革新的な技術によってデータセンタ事業の省エネに取り組んでいる事例があればご記入ください。なお、すでに外部に発表しており、参考となるWebサイトなどがあればそのURLを記載してください。

問3. AIの普及に伴う電力消費への影響についてお尋ねします。

AIの活用拡大に伴い、データセンタにおけるGPUサーバー等の計算資源の増加が電力消費に与える影響について、2025年度（2025年4月～2026年3月）の実績をベースに、貴社が把握している範囲でご回答ください。集計対象は問1(2)のデータセンタ系と同一の範囲としてください。

(1) データセンタ全体の電力消費量に占めるAI・GPUサーバー等の割合

貴社が把握しているデータセンタにおいて、AI（生成AI含む）関連のサーバー（GPUサーバー等）が占める電力消費量の割合をご記入ください（概算で結構です）。

[] % ☐ 不明 ☐ 該当する設備がない（AI・GPUサーバー等を保有していない）

(2) AI関連の計算資源増加に伴う電力消費の増加傾向

直近1年間（2025年度）において、AI関連の計算資源（GPUサーバー等）の増設に伴う電力消費量は、どのように変化していますか。最も近いものにチェックしてください。

- ☐ 大幅に増加している（前年度比で大きく増加）
☐ やや増加している
☐ 横ばいである
☐ 減少している

(3) 高発熱ラック（AI/GPUサーバー等）への対応状況

AI・GPUサーバー等の高発熱ラックへの対応として、以下取り組み項目の達成状況にチェックしてください。

対策項目	十分に 対策し ている	一部で 取り組 んでいる	これから 取り組 む予定 である	取り組 む予定 はない
高密度ラック対応の局所空調・空調強化	☐	☐	☐	☐
液冷技術（Direct Liquid Cooling）の導入	☐	☐	☐	☐
液浸冷却技術の導入	☐	☐	☐	☐

その他、AI・GPUサーバー等の高発熱ラックへの対応として実施していることなどがあればご記入ください。

(4) AI関連の電力需要増加に伴う課題・懸念事項

AIの普及に伴う電力需要の増加について、データセンタ事業がおかれている現状など、貴社が感じている課題や懸念事項、今後必要となる政府や業界団体への要望等があればご記入ください。

問4. ソフトウェア開発・運用に伴う CO2 排出量 (Scope3) の算定についてお尋ねします。

顧客企業からサプライチェーン全体での排出量開示・削減の要請が広がっており、ソフトウェア製品を対象とした CFP (カーボンフットプリント) 算定ルールが日本環境倶楽部により策定・公開されています。

参考: LCA 日本フォーラム ソフトウェアに関するカーボンフットプリントの製品別算定ルール
<https://lca-forum.org/member/guidelines.html#kubun1-1>

(1) 顧客等から、ソフトウェア開発・運用に伴う CO2 排出量の算定・開示を求められたことがありますか。

- ☐ 求められており、実際に算定している ☐ 求められているが算定できていない
☐ 求められたことはないが今後想定される ☐ 想定していない
☐ わからない

(2) 上記算定ルールについてご存じですか。

- ☐ 内容を把握している ☐ 名称は知っている ☐ 知らない

(3) JISA として期待する取り組みがあればお選びください (複数選択可)。

- ☐ 簡易に算定できるシート・ツールの提供
☐ 算定に用いる原単位 (オフィス 1 人あたり排出量等) の整備・提示
☐ 解説セミナーの開催
☐ 実証プロジェクトへの参加

その他:

- ☐ 特になし

**問5. 外部機関等における環境に関する取り組みへの参加状況をお尋ねします
貴社において、以下取り組みへの参加状況にチェックしてください。**

- ・TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース): ☐ 開示している ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・SBT (科学的根拠に基づく目標設定): ☐ 認定済 ☐ コミット中 ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・RE100: ☐ 参加している ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・UNGC: ☐ 賛同している ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・CDP: ☐ 回答している ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・JCI: ☐ 賛同している ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・GX リーグ: ☐ 参画している ☐ 調査中 ☐ 知らない
- ・その他:

問 6. 御社の製品・サービスを利用した省エネ化についてお尋ねします。

(1) 貴社の製品やサービスを活用することで、顧客の環境負荷が軽減された事例があればご記入ください。

(特に、海外での事例や革新的な技術の活用についての事例があれば記載ください。)

(記入例 1: 顧客のサーバーを〇台データセンタで管理することとした。これにより顧客の事務所で電力消費は〇〇kWh 削減された。)

(記入例 2: テレワークシステムを顧客に導入した。顧客の通勤に係わるエネルギー消費で〇〇kg 程度 CO2 排出が削減され、オフィス活動に伴うエネルギー消費で〇〇kg 程度 CO2 排出が削減された。)

(2) 省エネや環境保全に関する取組をされていればご記入ください。

(特に、海外での事例や革新的な技術の活用についての事例があれば記載ください。)

(記入例 1: テレワークシステムを導入することで、在宅勤務制度が促進された。結果、人の移動削減により年間〇〇kl の CO2 削減に寄与した。)

(記入例 2: オフィスで使用している電力について太陽光発電での電力を使用している)

問7. 再生可能エネルギーの購入についてお聞きします。再生可能エネルギーの購入に関して、最も該当する項目にチェックしてください。

	項 目
☐	多くが自社ビルに入居しており、再生可能エネルギーの購入は計画予定通り実施されている
☐	多くが自社ビルに入居しており、再生可能エネルギーの購入を検討している
☐	多くが自社ビルに入居しており、再生可能エネルギーの購入予定はない
☐	多くがテナントビルに入居しており、ビルオーナーが再生可能エネルギーを導入している
☐	多くがテナントビルに入居しており、再生可能エネルギーの導入権限がない
	【その他】

問8. 省エネ法では、2029年以降に新設されるデータセンタに対し、一層厳格な省エネルギー義務を課す法改正が検討されています。改正に際し、課題等ありましたらご記入ください。

参考：省エネ・非化石転換法に基づくデータセンタ業に係る措置 [資料](#)

ご協力ありがとうございました。